

○ 日本の人口問題について理解を深め、問題解決の方針について考えさせる。	3 日本の人口問題 (1) 出生率の低下 (2) 高齢化する人口 (3) 過密と過疎 (4) 低い食料自給率	○ 「日本の女性の平均子供数の推移」(新版『図説人口問題』新宿書房)	○ 大都市と農村の人口比ラミッドを作成させ、両者の違いに着目させて授業を展開する。 ○ 人口問題が各個人の生き方と深くかかわるものであることを認識できるよう配慮する。	状と課題について総合的に考察させる。
		○ 世界の資源、エネルギーの大量消費とその要因について理解を深め、資源の有限性について考えさせる。	1 有限な資源の大量消費 (1) 世界の資源・エネルギー消費量の推移 (2) 資源の大量消費の要因 (3) 資源の有限性と偏在性	○ 「エネルギー消費」(『日本国勢調査』P 132 ~ 135) ○ 『資源問題入門』(黒岩俊郎著 日本経済新聞社)
○ 資源・エネルギー問題(4時間)	2 エネルギー資源の開発と需給をめぐる国際問題 (1) 石油にささえられた生活 (2) 石油产地の分布と石油	○ 「エネルギー資源をめぐる国際問題」(藤井清光・武安義光著 NHK ブックス P 14~15)	○ 主要国のエネルギー消費構成にもふれるようになります。 ○ 大量消費の要因については、人口増加、産業の発達などと関連させて説明する。 ○ 『資源問題入門』(黒岩俊郎著 日本経済新聞社)	○ 國民生活の向上と経済の國民生活と福祉。 ○ 資源やエネルギーについて、資源やエネルギーには、それが今日の新しい課題となっている背景に触れながら、限られた資源やエネルギーを有効に利用することについて考える。
		○ 「エネルギー資源をめぐる国際問題」(藤井清光・武安義光著 NHK ブックス P 14~15)	○ 石油ショックなどを例に石油にかかわる問題について考えさせる。	○ 國民生活と資源・エネルギー資源と原料資源 ○ エネルギー資源と原料資源の分布、開発の状況需給関係などについて、世界的視野に立って把握させ、日本と世界のエネルギー、資源問題を考察させる。